学校番号	3005

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編国語総合」　（教育出版）						
副教材等	「常用漢字クリア」四訂班　（尚文出版）						

１ 担当者からのメッセージ

・社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「他人の夏」 「卒業ホームラン」	○			◎	○	a:わかりにくい言葉や表現の意味を確認し、登場人物の性格・心理・行動をとらえている。 d:段落ごとに時間・場所・人物を整理し、話がどのように展開しているかを理解している。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	随想・評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「世界は謎に満ちている」 「日本語万華鏡」	○			◎	◎	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	ディベートを行う	【近代以降】 (ディベートを通して互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ) 教材:ワークシート	○	◎			○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a,b,e:行動の観察と確認及び分析
	古文の物語を読む	【古典】 教材: 『十訓抄』 「顕雅の言ひ間違ひ」	○			◎	○	a:重要古語の意味を確認し、積極的に説話の内容を理解しようとしている。 d:登場人物の行動を心情を読み取り、説話のおもしろさを理解している。 e:『十訓抄』についての基本的な知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「夢十夜」	○			◎	○	a: わかりにくい言葉や表現の意味を確認し、登場人物の性格・心理・行動をとらえている。 d: 段落ごとに時間・場所・人物を整理し、話がどのように展開しているかを理解している。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

	漢文を読む	【古典】 教材: 唐詩の世界 「静夜思」「春暁」 「送元二使安西」	○			◎	○	a:繰り返し朗読する中で、漢詩の世界・リズムを味わい、情景や心情を的確に捉えようとしている。 d: 繰り返し朗読する中で、漢詩の世界・リズムを味わい、情景や心情を的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。また、漢詩の形式や作者についての知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古文を読む	【古典】 教材: 『伊勢物語』 「筒井筒」	○			◎	○	a:重要古語の意味を確認し、積極的に説話の内容を理解しようとしている。 d:登場人物の行動を心情を読み取り、物語のおもしろさを理解している。 e:『伊勢物語』についての基本的な知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	調べてレポートにまとめ	【近代以降】 (正確な情報を伝え、自分の考えを論理的に構成することを通してレポートの書き方を学ぶ) 教材:ワークシート 原稿用紙	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などにあった適切な表現の仕方で書こうとしている。 c: 文章の形態や文体、語句などにあった適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a,c,e:行動の観察と確認及び分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。